

夏休み号

ほけんだより

すくすく！

R 6. 7. 19
中部小保健室

いよいよ夏休み！9月に元気いっぱいで登校できるように、健康にすごしましょう！！

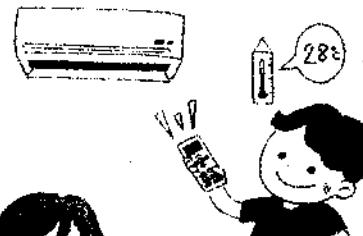
☆ 夏に注意したい「暑さ対策」と「冷え対策」 ☆

7月のすくすくタイムで「熱中症に気をつけよう」をおこないましたね。

出かけるときも、《水分と塩分の補給ポイント》を参考にしてください。

* 夏は暑さ対策が必要ですが、あわせて冷え性対策も大切です。

手足が冷たいことや、背中がぞくぞくしたことはないですか。それは体が冷えている証拠です。頭痛や腹痛やだるさなどの原因になるので、気をつけましょう。



① 冷房の効き過ぎを避けよう
設定温度を調整。公共の場所などでは、長袖を一枚はおりましょう。

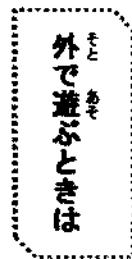


② 冷たいもののとり過ぎに気をつける
涼しい場所では温かいものをとるなど、冷たいものばかりとらない工夫をしましょう。



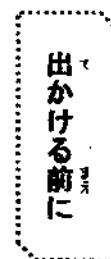
③ お風呂は湯船につかる
湯船につかると血の流れが良くなり、体全体が温まります。

☆ 出かけるときの約束 ☆



- 水筒
- 帽子
- 汗拭きタオル

を忘れずに



おうちの人には
• 誰と
• どこで
• いつ帰るか
を伝えよう

①自分の役割を決めて、家のお手伝いをしよう。



②検査や治療のお知らせをもらって、まだ受けっていない人は、早めに受けましょう。



暑くなつてから、こんな状態になつていませんか。



原因は
こんな
生活です



冷えすぎた部屋



夜ふかし

- 眠れない
- 体がだるい、やる気が出ない
- 頭が痛い
- 食欲がない

これほどでも
夏バテの症状。



部屋でごんごん



冷たいものばかり食べる

アイスやかき氷など冷たいものはかりどると、お腹が冷えすぎて胃腸の調子が悪くなります



適度な運動をする



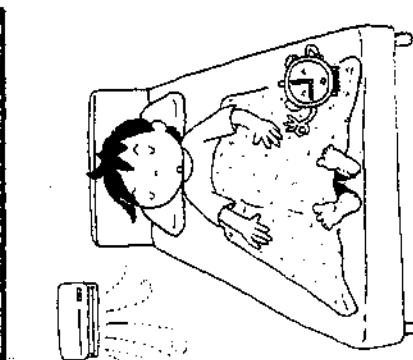
ごはんをしつかり食べる

毎日3食、できるだけ同じ時間に食べましょう。特に朝ごはんは1日のエネルギーになるので忘れずにおこなう。食欲がない時は、食欲増進剤のある、スパイイスを使つた辛い物や梅干しなどのすっぱい物を食べましょう。

これほどでも汗をかくことで体温調節をしていきます。朝や夕方など涼しい時間にウォーキングや、涼しい室内で軽い体操など、適度な運動をしましよう。運動する時は水分補給も忘れずに。



エアコンの温度を下げ過ぎない



睡眠をきつちりとる

室温が26℃位になるように温度を設定します。電車など自分で設定して、しない時は、上着を着たり、寝定するなどエアコンを上手に使ってたつぶりと寝ましょう。

夏バテをやつせよう!!

夏バテは体が暑さに対応できなくて、いろいろな不調が起こつた状態です。でも予防は、日常生活でできることばかり。すぐに取り組めることから始めて、夏を元気に過ごしましょう。